

今回のさわやかインタビューは特別企画としてトラック運送業界で活躍中の女性の声をお届けいたします。

11月9日（金）メッセナゴヤ2018において、愛知県「あいち・ウーマノミクス推進事業」の一環として「トラック運送業界・建設業界で働く女性と女子学生との交流会」が開催され、たくさんの女子学生も参加した賑やかなイベントとなりました。

「トラガールは業界の宝物」



トラック運送業界からは
愛知商運株式会社 総務・経理担当 増田知恵美さん。
株式会社マイシン ドライバー・配車担当 鈴木祐子さん。
丸五運送株式会社 ドライバー 長江由佳さん。
ファシリテーター 高島 舞さん。
以上4名にてスケッチブックを使ったパネルディスカッションが始まりました。

「会場のみなさん、トラガールという言葉をご存知でしょうか？そう、トラック業界で働く女性のことです。本イベントでは最近、注目される職業となったトラック運送業の女性社員の皆様にお集まりいただき、その魅力をお伝えいたします。」



高島 舞さん 鈴木祐子さん 増田知恵美さん 長江由佳さん

高 この仕事について楽しかったこと、良かったことを教えてください。

増 私の仕事は経理なので入社前、履歴書から出合いがあり、その後の給料をお渡しするまでその方

の全てに関わることが出来ます。また、お客様とも様々な書類を通じでたくさんの方と関わることができて、それが何より楽しいと感じています。

鈴 ドライバーと配車をやっております。社員皆さんとは本当に仲良く、職場のお父さんやお母さん、ねえちゃんや妹が一杯います。仕事が終わって、皆が帰り支度を始めると、「え〜っ、もう帰るの!？」と寂しくなる程です。

長 会社の中はいつもフレンドリーです。業務後に飲み会に行く事や、悩み相談ができる方も多く大変良い環境です。

高 みなさんの会社の男女比率を教えてください。

長 全社員70人中、女性ドライバーが5名です。

鈴 全社員130人中、女性ドライバーが31名です。学校の1クラス分くらい（笑）。年齢も20代から50代くらいまでいます。

増 全社員70人中、女性社員が20名です。

高 マイシンさんは20%以上。愛知商運さんは約30%。これはとても多い感じですね！

高 男性中心だった運送会社で働くみなさんですが、トイレや更衣室など会社の働く環境はいかがでしょう？



パネルディスカッションの様子

鈴 女性トイレを新設してもらいました。産休や育児休暇などもあり、居心地のいい会社です。ストレスが全くありません。

長 女性だから働きにくいとは思えません。一般の方が想像するイメージとは全く違います。

高 業界に入る前と後、思っていたことと違ったことはありますか？

増 経理採用なのでパソコン作業ばかりかと思っていたのですが、草取りや買い物など様々な業務があり、その辺りが入社前に思っていたことと違っていました。

鈴 ドライバーは一人で出かけ、一人で荷物の積み下ろしを行う仕事なので、孤独かと思っていたのですが、お客様も、ちょっと怖そうな（笑）他の会社のドライバーさんもみなさん声をかけてくれます。コミュニケーションの塊のような仕事です。

長 イメージ通り！！元々、父が運送の仕事をやっており格好良く思っていて、小さい頃からトラックドライバーになることが夢でした。入社前に大型免許を取得して、会社に入ることができました。今はとても楽しいです。

高 長江さんもそうですが、増田さんも鈴木さんもトラックに乗りたくて、運送業界に入ったと聞きました。志望されている方が案外多い。すごく新鮮な感じがしました。

高 今、気づきましたが、皆さん、爪のおしゃれをしていますね。会社には規定はないのですか？

鈴 あまり派手すぎず、上司に注意されなければオシャレはOKです。

高 これは一般の会社より遥かに自由、オシャレを楽しむならトラガールということですね。

高 みなさん、これからどのように活躍し、どのようなキャリア、夢を描きたいですか？

増 人がいなければ成り立たないので、女性ドライバーを多く育てたいです。

鈴 女性が多く、考え方もいろいろなので、幾つかのグループがあります。それらをひっぱり人間になりたいですね。また、将来トラックに乗りたい子供の夢を叶えることができる人にもなりたいです。

長 4tトラックから大型トラックに乗りましたので、この次は配車係を経験して、ゆくゆくは社長になるのが夢です。

高 いろいろな業界の中で女性の活躍が手詰まりになっているところも多いですが、このトラック運送業界には女性の夢が語れ、たくさん実現できる業界であるように感じました。



会場の様子

ガールズトークに花が咲き、パネルディスカッションが終了。その後、観客として参加していた女子学生と座談会形式の質疑応答と成りました。

「コミュニケーションが頻繁で、頑張れば頑張った分のバックもある、やる気女子にはうってつけの業界」高島さんの言葉で締めくくられて「トラック運送業界・建設業界で働く女性と女子学生との交流会」トラック運送業界編は大きな拍手喝采の中、終了しました。